学校番号	３１２

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　政治・経済　（第一学習社）						
副教材等	テーマ別資料　政治・経済 2019（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治経済を学ぶ意義は、社会の成り立ちや仕組みを理解し、生きていく上で大切なことを学ぶことにあります。また、社会で起きている様々な問題は、簡単に解決策が見つからないこと、答えが一つではないことがたくさんあります。そのような問題に対し、主権者として、自分の頭で考えて自分なりの答えを見つける力をつけましょう。

２　学習の到達目標

民主主義に関して理解を深め、現代における政治・経済、国際関係等を理解し、それらの諸課題について主体的に考察し、主権者にふさわしい知識や公正な判断力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・政治・経済の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求している。	・現代社会に存在するさまざまな課題から特に重要と思われるものを自ら見いだし、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・政治・経済の基本的問題に関する様々な諸資料を新聞、雑誌、インターネット等を通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・政治・経済の基礎理論に関する学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 授業態度 提出物	定期考査 ワークシート 授業態度 提出物	定期考査 ワークシート 授業態度 提出物	定期考査 授業態度 提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
一学期前半	民主政治の基本原理と日本国憲法	第1編　第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法 1、 政治と法の機能 2、 人権保障と法の支配 3、 議会制民主主義と世界の政治体制 4、 日本国憲法の基本原理 5、 平和主義と自衛隊 6、 基本的人権の保障と新しい人権 7、 国会の組織と立法	○		○	○	a: 近代政治や人権保障の歩み、さらに現代の民主政治に対する関心が高まっている b: 近代国家の形成過程を文章や図表などで適切に表現している c: 日本の安全保障や米軍基地問題に関する諸資料を収集し、安保問題等の課題を分析している d: 日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている	定期考査 ワークシート 授業態度
一学期後半	現代の国際政治と日本	8、 内閣の機構と行政 9、 裁判所の機能と司法制度 10、 政党政治と選挙制度 11、 民主政治における世論の役割 第2章　現代の国際政治と日本 1、 国際社会と国際法 2、 国際連合の組織と役割 3、 国際政治の動向 4、 国際紛争と難民問題 5、 国際平和と日本の役割		○		○	a: 国連などの国際機関が果たす役割とその課題について意欲的に追究している b: 現代社会の世論形成過程とメディアのあり方について考察し、自らの意見を表現している c: 国連などの国際的な機構・組織の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している d: 冷戦終結後の国際経済や国際紛争・難民問題に関する知識を理解し、身につけている	定期考査 ワークシート 授業態度

二学期前半	現代経済のしくみと特質	第2編　第1章 現代経済のしくみと特質 1、 経済社会の発展 2、 経済主体と経済活動 3、 市場経済の機能と限界 4、 経済成長と景気変動 5、 財政のしくみとはたらき 6、 金融のしくみとはたらき	○			○	a: 市場経済の機能と限界について意欲的に追究している b: コンプライアンスなどの企業の社会的責任について公正に判断している。 c:GDP などの経済指標をメディアから収集し、日本と外国との違いを比較・検討している d:財政や金融の仕組みを代表とする経済の基本理論を理解している	定期考査 授業態度 提出物
二学期後半	国民経済と国際経済	7、 物価の動き 8、 日本経済の歩み 9、 中小企業の地位と役割 10、農業の現状と課題 11、消費者問題 12、高度情報社会の進展と課題		○	○		a: 中小企業の地位と役割について意欲的に追究している b: クーリング・オフをはじめとする消費者問題の在り方について公正に判断している。 c: 高度情報社会の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している d:インフレ・デフレを代表とする物価や経済の基本理論を理解している	定期考査 ワークシート 授業態度

三学期	現代社会の諸課題	13、労働問題 14、社会保障制度の充実 15、環境保全と資源・エネルギー問題 第2章　国民経済と国際経済 1、国際経済のしくみ 2、国際協調と国際経済機関の役割 3、国際経済の諸問題と日本の役割	○		○	○	a:労働三法や労働三権が果たす役割とその課題について意欲的に追究している b: 冷戦終結後の国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、公正に判断している。 c: 地球環境問題に関する諸資料を収集し、資源・エネルギー問題等の課題を分析している d:国際収支や外国為替など、国際経済の仕組みをきちんと理解するために必要な基本知識を身に付けている	定期考査 ワークシート 提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。